

施策評価調書(27年度実績)

施策コード Ⅱ-5-(1)

政策体系	施策名	海外に開かれたネットワークづくりと輸出促進	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	115
	政策名	海外戦略の推進	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工労働部、農林水産部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	海外の活力を取り込む	海外の人材を取り込む	国際交流・国際貢献の推進	国際人材の育成・活用

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 海外展開企業数(事業者)	①	H26	91	94	100	106.4%	118	150						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 達成	アジアビジネス研究会による海外ネットワークの強化やジェトロ等関係機関の支援により海外に展開している企業が増加した結果、目標値を達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・台湾(台北市)及び香港において、レストランやスーパー、卸業者、旅行者等多くの関係者に対し、大分の食と観光を売り込むことにより、販路開拓や観光客誘致を図ることができた。また、アジアビジネス研究会(会員数127社)等の取組により、企業の海外展開にかかるサポートを行うことができた。
②	・初めてとなる留学説明会を中国武漢市で県内大学と協働で開催し、留学先としての大分県のPRと誘致を行った。また、留学生と県内企業との交流会を開催し、昨年以上に多くの企業(37社)が参加し、地域での留学生人材の活用を図るきっかけづくりができた。
③	・日米草の根交流サミットを大分県で開催し、アメリカから学生を含む87名と県内高校生やホストファミリー等の地元から延べ2,100名の参加があり、草の根レベルでの国際交流の促進が図られた。
④	・県内89団体(学校、スポーツクラブ等)で海外からの教育旅行の受入れを行い、国際人材の育成を図ることができた。また、韓国や台湾における教育旅行誘致PRにより、教育旅行の誘致を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	海外戦略推進事業	48,175	A	継続・見直し	19
②	外国人留学生支援事業	33,271	B	継続・見直し	20
③	国際スポーツ大会誘致推進事業	27,130	A	継続・見直し	22
④	緊急雇用国際人材育成推進事業	4,662	B	終了	21

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○「海外戦略アドバイザー会議」(H27.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーションに1回行って、いい話ができても、その後が続かず、輸出が続かない。 ・留学生に、困っていること、自国の人が来た時に困ることはないかなどを、聞いてみるのが一番いい。それによって受け入れ体制をどうするかが一番重要なスタート。 	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾等ターゲット国において観光と県産品の一体的なプロモーションを展開する。 ・大分県アジアビジネス研究会を継続し、アジア各国への事業展開に意欲的な県内企業等への有益な情報提供・交流の場を提供し、海外展開を促進する。 ・海外ビジネス展開のための海外ネットワークを強化・拡充する。 ・留学生の卒業後の県内定着を促進するため、就職と起業を支援する留学生ビジネスセンターを開設する。